

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

1 要旨・目的

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和3年6月末時点での進捗状況について報告する。

2 現状・背景

(1) 進捗について

農地・農業用施設については、契約が約9割まで進むとともに工事完了も約6割となり、営農の再開が進んでいる。また、林道施設についてもおおむね契約を終え、工事完了が約7割に達している。

施設名	実施箇所 ※	契約済			工事完了		
		5月末まで ①	6月 ②	6月末まで ①+②	5月末まで ①	6月 ②	6月末まで ①+②
農地・農業 用施設	4,294 (4,924)	3,829 (89.2%)	62	3,891 (90.6%)	2,614 (60.9%)	85	2,699 (62.9%)
林道 施設	312 (315)	304 (97.4%)	1	305 (97.8%)	207 (66.3%)	13	220 (70.5%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和3年6月末現在）
< > は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

(2) 取組状況

- 大規模に被災した地域の権利調整や、農家負担金を低減するための工法検討が必要な箇所、隣接する河川等の災害復旧工事との工程調整が必要な箇所など、着手が遅れて完了までに時間を要する箇所では復旧までの間、仮設用パイプなどの資材を市町から提供するなど、できるかぎり農林業の再開ができるよう対策を講じている。
- また、工事が未完成の箇所においては、7月7日からの大雨の影響を早期に把握するよう努めている。

3 概要

(1) 対象者

農林業関係者

(2) 事業内容（実施内容）

農地・農業用施設、林道施設の災害復旧

(3) スケジュール

平成30年度から令和3年度

(4) 予算（国庫）

農地・農業用施設 6,588,911千円 林道施設 338,700千円 （※R3 過年災当初予算額）

(5) 今後の対応

地域毎に他の災害復旧工事等との調整を図りながら、随意契約等も積極的に活用し、計画的かつ効率的な発注に努め、進捗管理を徹底する。また、遅れている箇所については、被災者に対し復旧時期の見込などを丁寧に説明し、早期復旧を目指すこととする。